2024年2月26日からの千葉県東方沖の地震活動

- 2月26日から千葉県東方沖を中心にまとまった地震活動が継続しています。
- 地震活動が活発となった2月27日以降、震度１以上を観測した地震が48回発生しています（3月26日09時現在）。
〔最大震度4：4回、最大震度3：7回、最大震度2：15回、最大震度1：22回〕
- 最大規模の地震は、 3月1日05時43分に深さ31kmで発生したM5.3（最大震度4）で、このほかに最大震度4 を観測した地震は、2月29日18時35分に発生したM4.9の地震、3月2日01時49分に発生したM5.0の地震、3月9日04時26分に発生したM4.4の地震となっています。
- この地域ではときどきＭ５前後の地震が発生し、1週間～数か月程度地震活動が活発になることがあります。これらは、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界でのゆっくりすべりと同期した地震活動と考えられています。最近では、1996年、2002年、2007年、2011年、2014年、2018年に地震活動が見られ、2007年の地震活動では最大震度5弱となりました。
- 2011年の活動のように一か月以上経過してからその活動中で最大の震度を観測する地震が発生した事例もあることから、気象庁では、今後もこの地域の地震活動について注意深く監視していきます。
- 地震への日頃の備えを確認いただくとともに、強い揺れが発生した場合には身の安全を図るようお願いします。

地震調査委員会における検討結果など

- ３月11日に開催された、地震調査研究推進本部地震調査委員会において、**「過去の地震活動を踏まえると、今後も引き続き地震が発生し震度５弱程度の強い揺れが観測される可能性があるため、強い揺れに注意が必要である。」**と評価されました。
  詳しくは以下の資料をご覧ください。

  ・２０２４年２月の地震活動の評価
  https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/2024_02.pdf

- また、国土地理院からは、「房総半島の電子基準点観測データに、2024年２月26日頃から、通常とは異なる地殻変動（非定常地殻変動）が検出されています。これまでに検出された非定常地殻変動は大きいところで約２cmです。この変動は、房総半島沖のフィリピン海プレートと陸側のプレートの境界面で発生している『ゆっくりすべり（スロースリップ）現象』によるものと推定されます。」との発表がされています。

  詳しくは「令和6年（2024年）2月～3月　房総半島の非定常地殻変動（第２報）」をご覧ください。
  URL: https://www.gsi.go.jp/chibankansi/chikakukansi_bousou_sse20180615_00002.html

震度1以上の地震の発生状況（3月26日09時現在）

【最大震度別・日別地震回数表】

（令和6年2月26日～3月26日、震度1以上の地震）

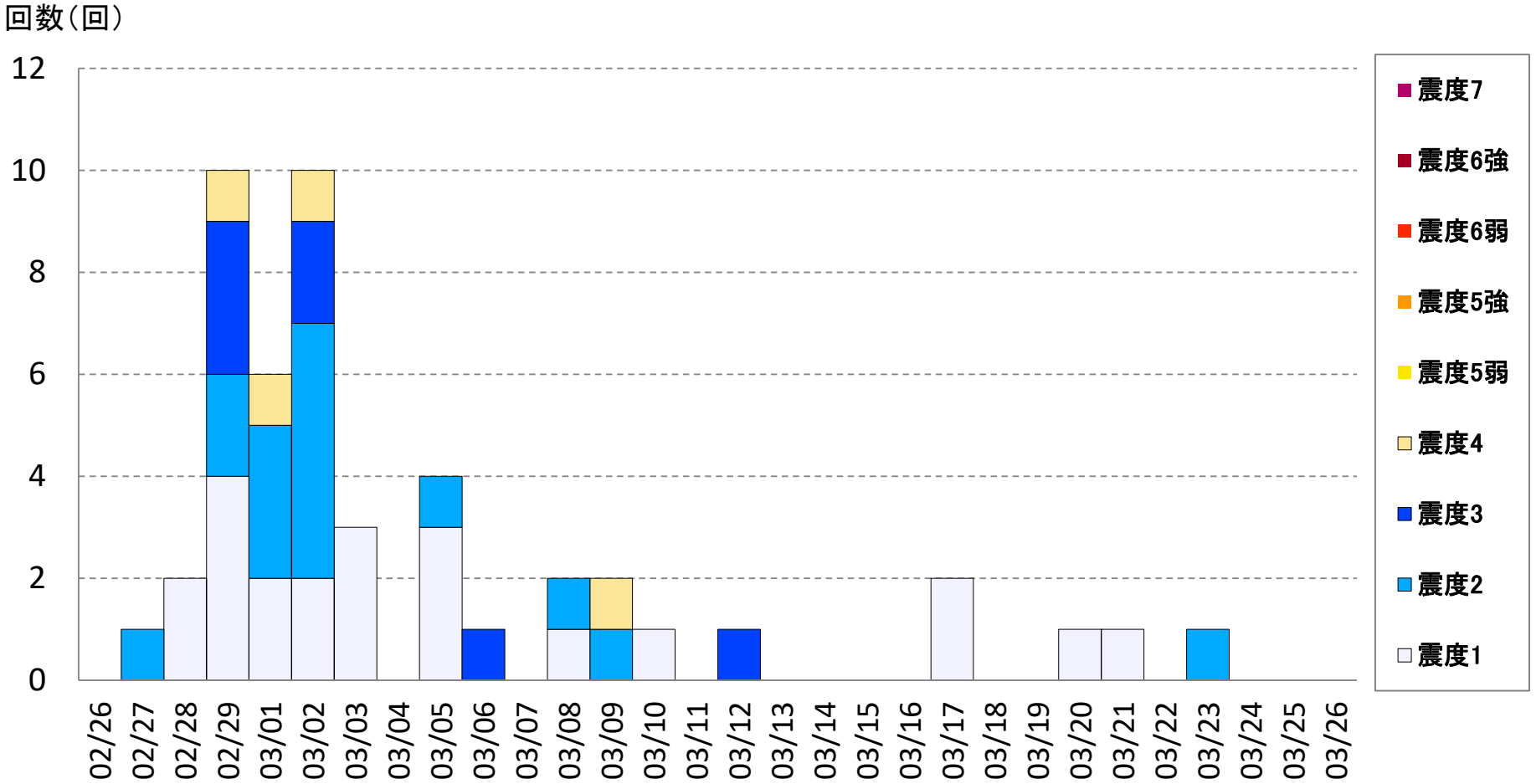
月日	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	回数	累計
02/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
02/27	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
02/28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
02/29	4	2	3	1	0	0	0	0	0	10	13
03/01	2	3	0	1	0	0	0	0	0	6	19
03/02	2	5	2	1	0	0	0	0	0	10	29
03/03	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	32
03/04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
03/05	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	36
03/06	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	37
03/07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
03/08	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	39
03/09	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	41
03/10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	42
03/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
03/12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	43
03/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
03/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
03/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
03/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
03/17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	45
03/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
03/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
03/20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	46
03/21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	47
03/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
03/23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	48
03/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48
03/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48
03/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48
総計(2月26日～)	22	15	7	4	0	0	0	0	0		48

気象庁作成

震度1以上の地震の発生状況（3月26日09時現在）

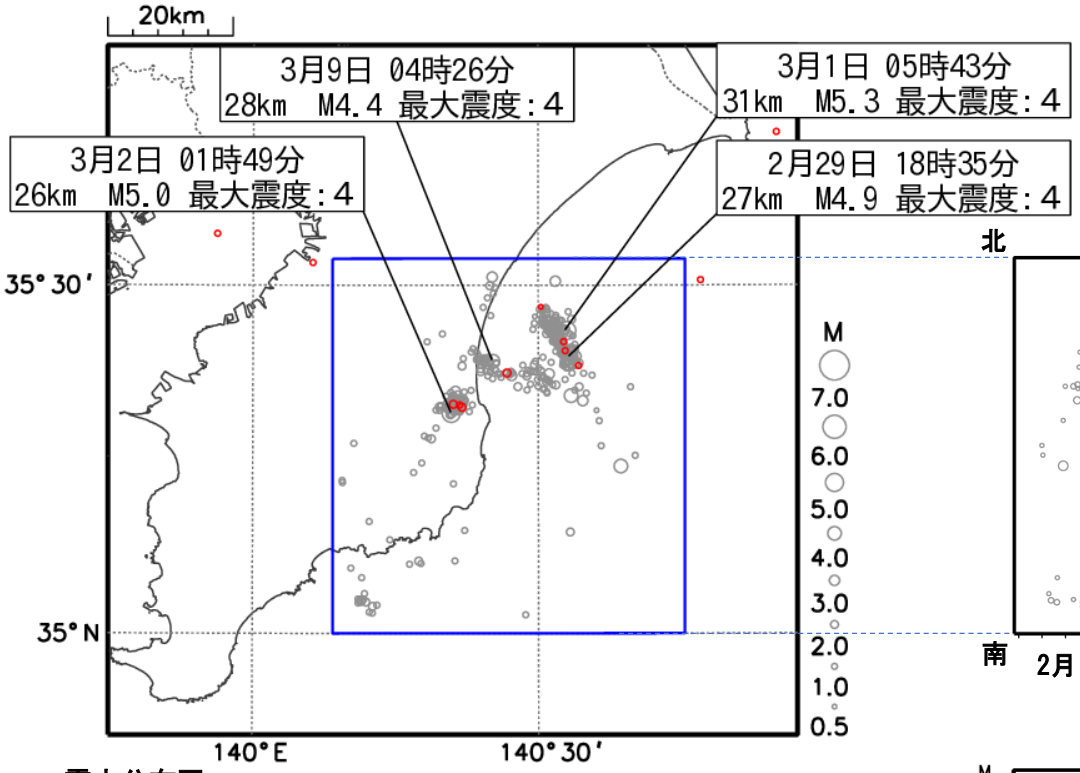
【最大震度別・日別地震回数グラフ】

（令和6年2月26日～3月26日、震度1以上の地震）

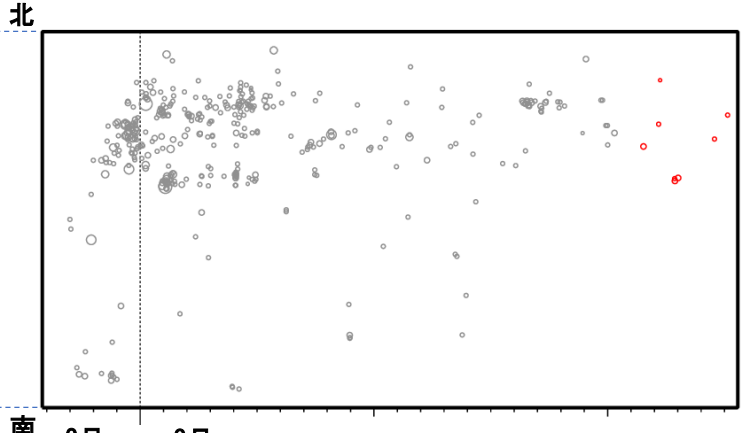


気象庁作成

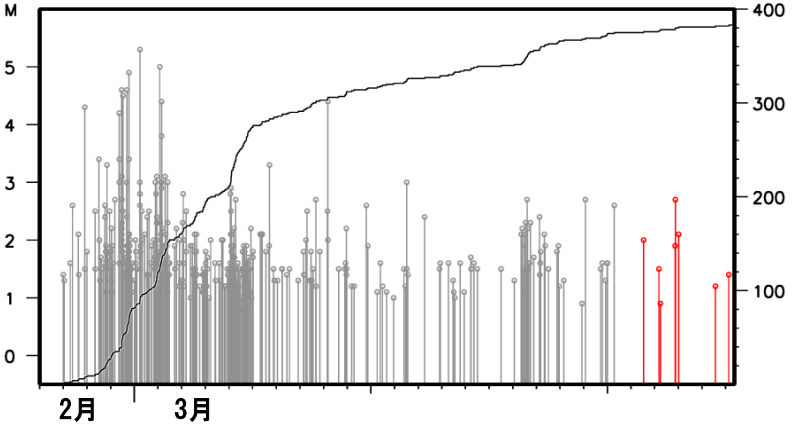
今回の地震活動



震央分布図
（2024年2月26日～3月26日09時00分、M≧0.5、深さ0～40km）
3月22日09時00分以降の地震活動を赤丸で示す



震央分布図の矩形内の時空間断面図
横軸は時間、縦軸は南北。
丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。



震央分布図の矩形内の地震活動経過・回数積算図
横軸は時間、縦軸はマグニチュード（左）、回数（右）。
縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを、
線グラフで地震の回数積算を表す。

＜資料の利用上の留意点＞
・表示している震源は速報値を含みます。
・速報値の震源には発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

気象庁作成

千葉県東方沖の過去の地震活動（各活動の3か月間の推移）

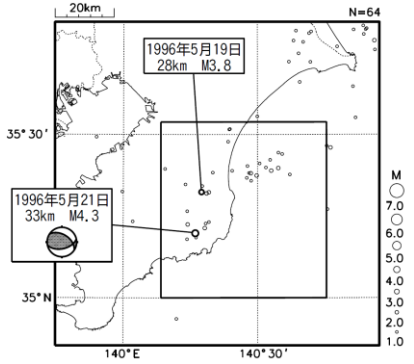
震央分布図
（深さ０～40km、
Ｍ≧1.0）

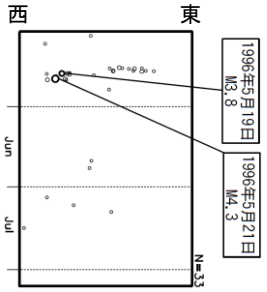
矩形内の
時空間分布図
（東西投影）

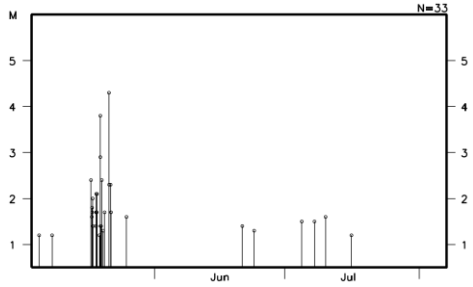
矩形内の
Ｍ－Ｔ図

1996年

1996年５月５日～８月５日



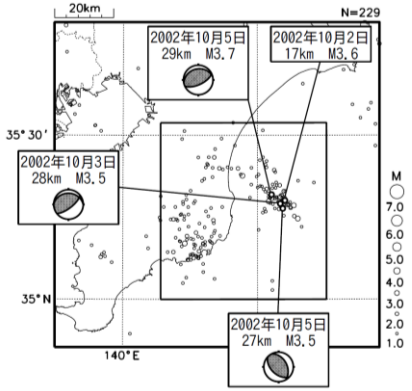


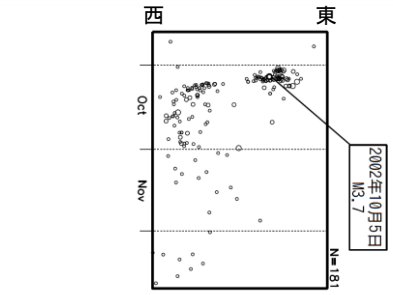


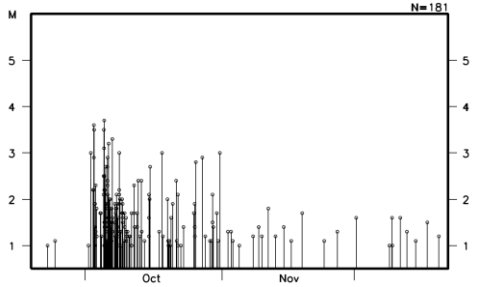
1996年	5月	6月	7月	合計
震度1	0	0	0	0
震度2	3	0	0	3
合計	3	0	0	3

2002年

2002年９月20日～12月20日



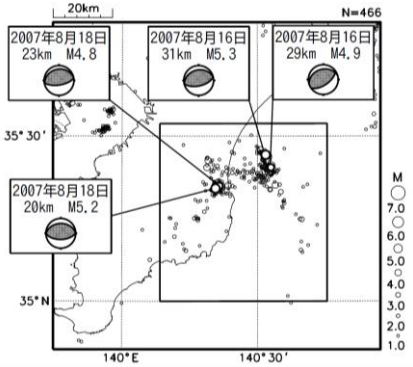


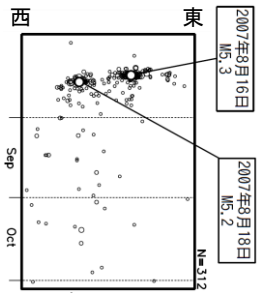


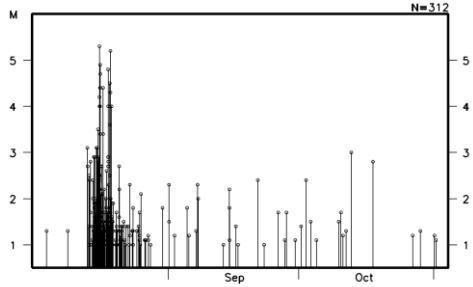
2002年	10月	11月	12月	合計
震度1	10	0	0	10
震度2	3	1	0	4
合計	13	1	0	14

2007年

2007年８月２日～11月２日







2007年	8月	9月	10月	合計
震度1	12	3	2	17
震度2	8	0	1	9
震度3	7	0	0	7
震度4	3	0	0	3
震度5弱	1	0	0	1
合計	31	3	3	37

気象庁作成

千葉県東方沖の過去の地震活動（各活動の3か月間の推移）

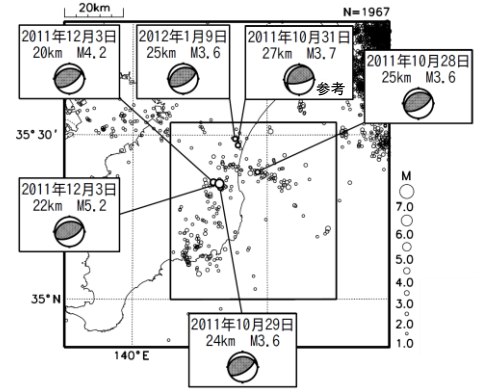
震央分布図
（深さ０～40km、
Ｍ≧1.0）

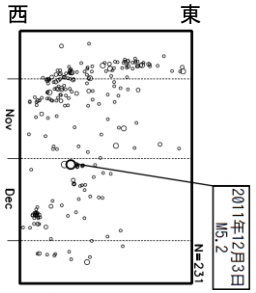
矩形内の
時空間分布図
（東西投影）

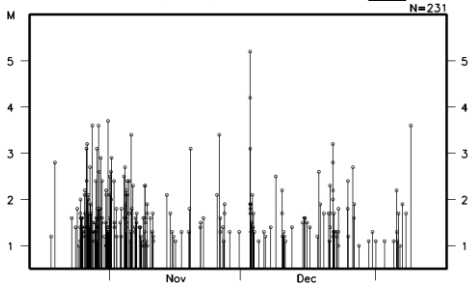
矩形内の
Ｍ－Ｔ図

2011年

2011年10月15日～2012年１月15日



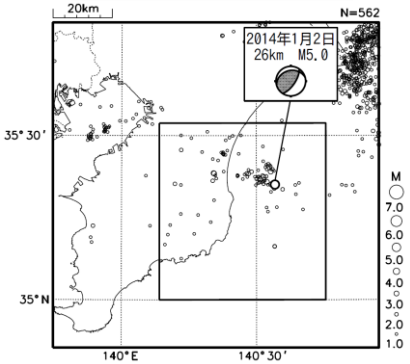


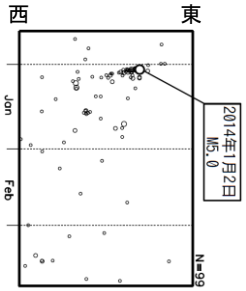


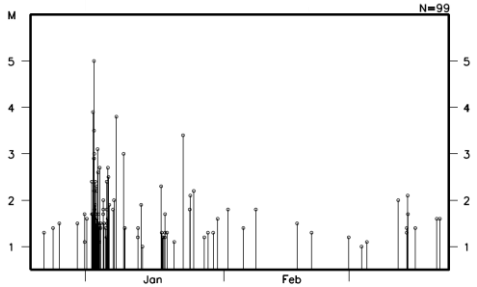
2011年	10月	11月	12月	1月	合計
震度1	5	3	5	4	17
震度2	4	3	2	0	9
震度3	0	0	1	1	2
震度4	0	0	1	0	1
合計	9	6	9	5	29

2014年

2013年12月21日～2014年３月21日



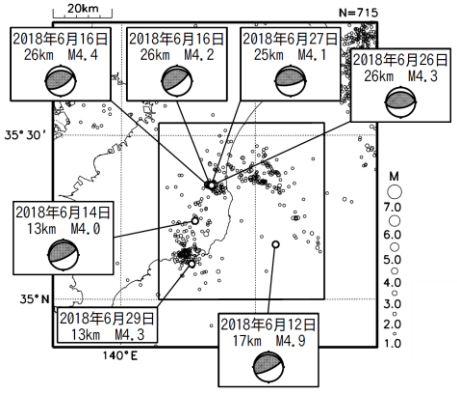


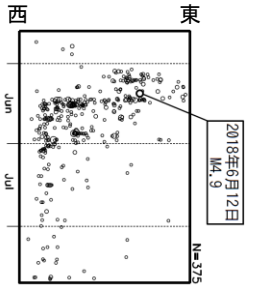


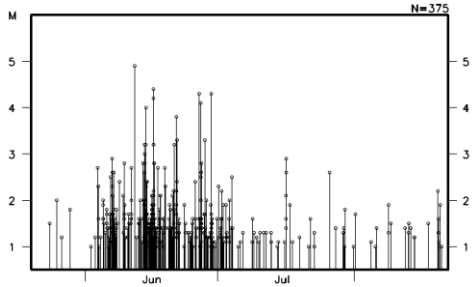
2014年	1月	合計
震度1	6	6
震度2	2	2
震度3	2	2
合計	10	10

2018年

2018年５月21日～８月20日







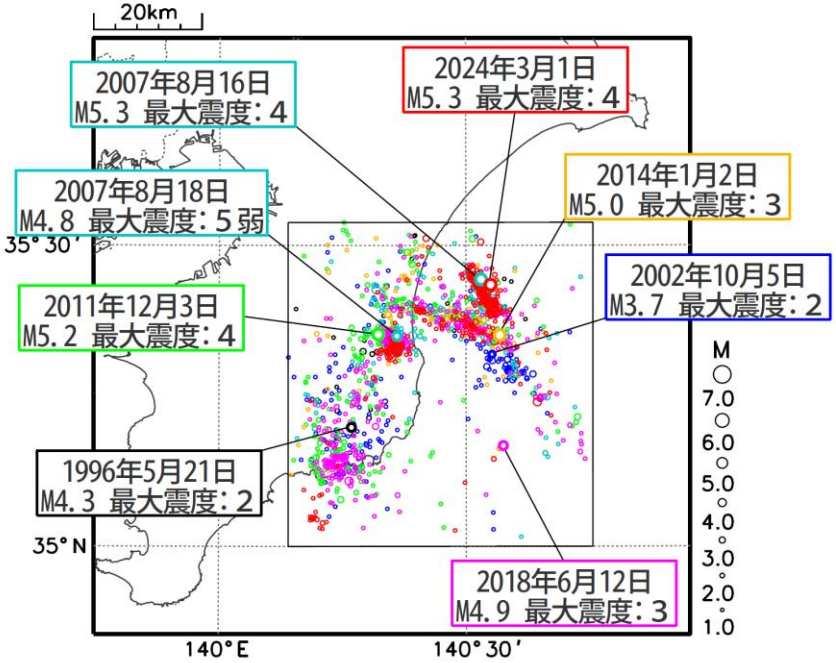
2018年	6月	7月	合計
震度１	10	3	13
震度２	8	0	8
震度３	6	0	6
震度４	2	0	2
合計	26	3	29

気象庁作成

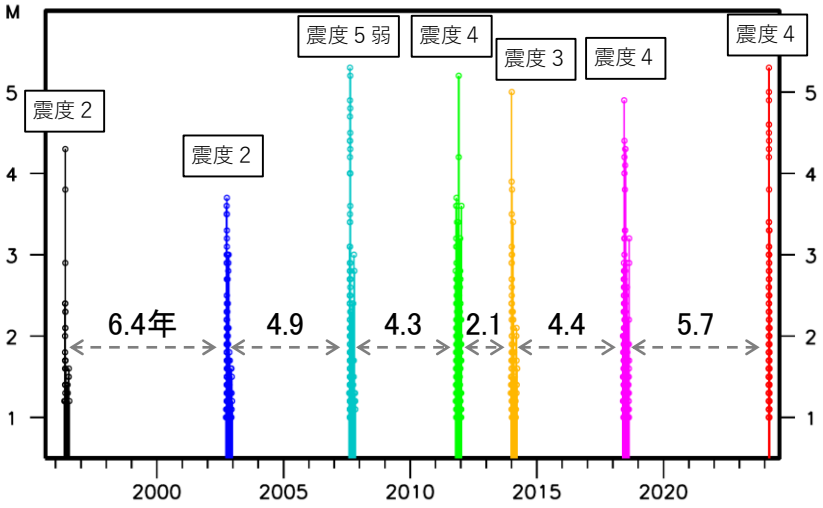
千葉県東方沖の過去の地震活動（1996年～2024年）

震央分布図（1996年～、M≧1.0、深さ0～40km）

各活動期間（３か月間）の最大規模および最大震度５弱の地震に吹き出し



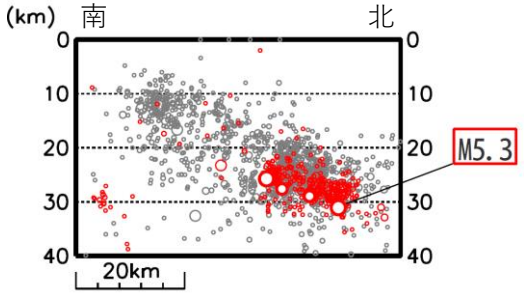
矩形内のM-T図



は活動期間中（3か月間）の最大震度

（図中の活動間隔は、最大地震の期間差）

矩形内の南北断面図



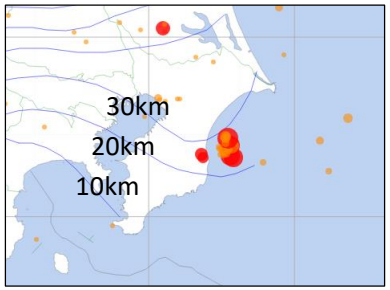
2024年の活動を赤色で、それ以前を灰色でプロット

表示期間（いずれも３ヶ月間）と色分け

- 1996年05月05日～1996年08月05日
- 2002年09月20日～2002年12月20日
- 2007年08月02日～2007年11月02日
- 2011年10月15日～2012年01月15日
- 2013年12月21日～2014年03月21日
- 2018年05月21日～2018年08月21日
- 2024年02月25日～（03月06日24時）

参考：フィリピン海プレート上面の深さ

（プレート形状は、弘瀬他（2008）による）



気象庁作成